

CAUA設立10周年記念シンポジウム

ICTは大学にどのような 貢献をしてきたのか？

～ 過ぎし10年と、来る10年を考える～

2009年11月13日(金)

上智大学
総合メディアセンター
藤原 一博

(C) 2009 Sophia University. All rights reserved.

この10年間を振り返る(1)

- ダウンサイジング(1992年くらいから)
- ハードウェアの小型化、低価格化、省電力化
- OSのGUI化
- WEB技術
- ネットワーク環境の整備
 - 学内LAN、インターネット接続
- L3スイッチ、VLAN、無線LAN、FTTH、VPN等
- セキュリティ技術

この10年間を振り返る(2)

- 電子メールの多言語化
- WEB利用の爆発的な増加
- 情報リテラシーの必修化(2001年度から)
- 電子化図書館(電子ジャーナル)
- 機関リポジトリ
- ICT利用環境の拡充・整備

ICTによる現状効果(教育・研究現場)

- コンピュータを利用した授業の増加
- コンピュータを利用した語学教育(CALL)
- 分散処理による研究成果の効率化
- WEBによる情報発信・収集・共有
- 講義ノート配布、課題提出
- e-Learning
- 遠隔講義、ストリーミング配信、オンデマンド配信
- 学内のみ利用可能な資源への学外からの利用

ICTによる現状効果(事務現場)

- 人事関係(就業管理、給与管理等)
- 財務関係(予算管理、入出金管理等)
- 施設関係(利用管理、図面、資産管理等)
- 総務関係(広報、案内等)
- 入試関係(受付、案内、相談等)
- 学事関係(シラバス、履修登録、出欠、アンケート等)
- 学生生活関係(課外活動、就職活動、健康管理等)

ICT化による問題点

- 不正アクセス、不正利用
- 迷惑メール対策
- 個人情報保護
- 情報流出対策
- 著作権、公衆放送権等の法的な対応
- 情報セキュリティを含めた危機管理体制
- 利用者のリテラシー問題

今後はどうなるのか？(その1)

ハードウェア、ソフトウェアにおける様々な技術が
今後も開発されている

- コンピュータ仮想化
- クラウドコンピューティング
- ネットワーク高速化(100GbE、802.11X等)
- 高度セキュリティ化

今と大きく変わる何か新しい技術はあるのだろうか？

今後はどうなるのか？(その2)

ICT(情報通信技術)は大別すると

- ハードウェア技術
- ソフトウェア技術

でも、この10年間で最も変わったのは？

- 利用技術
 - 利用者が賢く使うようになってきた
 - 機能に関するニーズも増えてきた

今後はどうなるのか？(その3)

- 既存システムの充実化
 - WEBコンテンツの多様化対応
 - e-Learning環境の充実化
 - デジタルデータのアーカイブ化
 - 遠隔講義の簡易化
- 危機管理体制の確立(情報セキュリティ含む)
- ハードウェアのみならずソフトウェアを含めた包括的なシステムの統合化技術